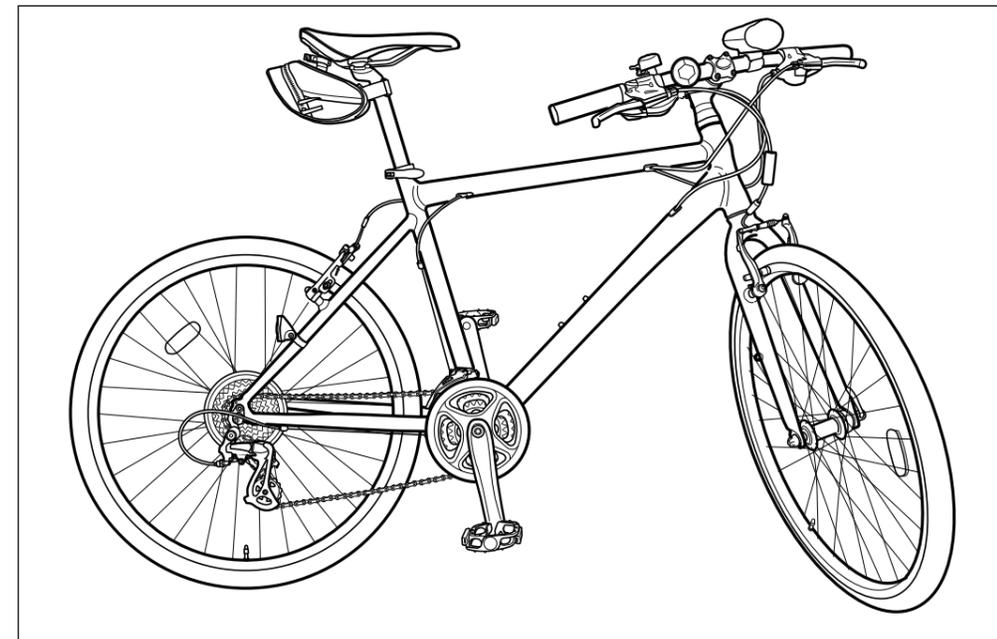


取扱説明書 スポーツ車

エスリーシリーズ

品番 B-PSCS43
B-PSCS48
B-PSCX43
B-PSCX48
B-PSCE43
B-PSCE48



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください

お願い

- この自転車を、新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- 安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。(法令で義務付けられています。)

お知らせ

- この自転車に幼児用座席を取付けることはできません。

保証書別添付

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- ・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- ・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。(お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。)

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

東 北 地区 (022) 382-7791 東京・神奈川・千葉地区 (0422) 34-4117
 埼玉・群馬・新潟地区 (0480) 93-8071 栃木・茨城地区 (0286) 52-5046
 中部(新潟除く)・東海地区 (0587) 54-4111 近畿地区 (072) 975-4100
 中国・四国地区 (082) 870-7776 九州・沖縄地区 (092) 621-9918

※受付時間 平日(土・日・祝日および年末年始等の連休を除く) 9:00～17:00

※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室(下記)におかけください。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室
 Tel : (072) 977-1603
 受付時間 9:00～20:00

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

もくじ

乗るまえに	
●安全上のご注意	2
●各部のなまえ	8
●乗るまえの点検と調整	10
●正しい取扱い方法	17

必要なとき	
●お手入れ/注油について	26
●保管/廃棄	28
●定期点検	29
●盗難補償/アフターサービス	30
●スポーツ用自転車安全基準/SBAAマーク	31
●オプション(別売部品)	32
●仕様	33

安全上のご注意 (1)

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



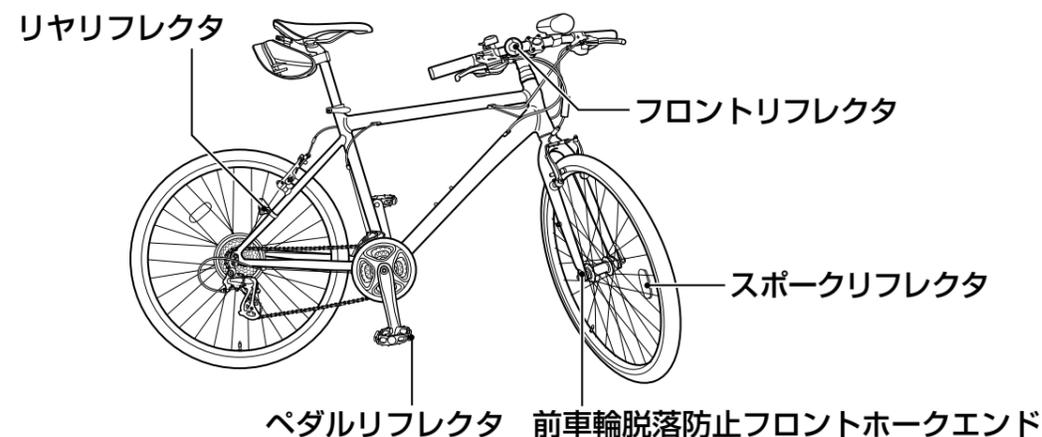
実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

■安全にご使用いただくために

専門的な技術と知識が必要です。わからないことは、販売店でご相談ください。
乗る前には必ず点検を行ってください。(10～16 ページ参照)



警告

■安全装置は取り外さない



外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

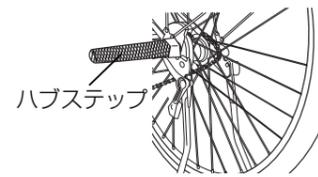
■分解や改造はしない



部品が破損したり、外れて転倒によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■ハブステップなどの突出物を装着しない



歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

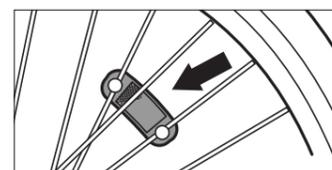
■悪路荒野では使用しない



転倒によるけがのおそれがあります。
●この自転車は一般(普通)道路専用です。

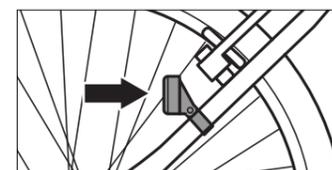
■安全装置

スポークリフレクタ



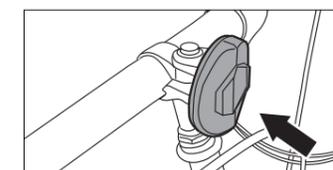
横からの光を反射します。

リヤリフレクタ (後部反射器)



後ろからの光を反射します。

フロントリフレクタ (前部反射器)



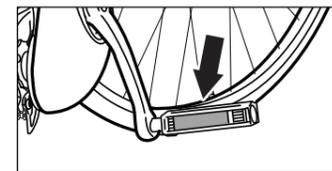
前からの光を反射します。

前車輪脱落防止 フロントホークエンド



前車輪の脱落を防止します。

ペダルリフレクタ



前後からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。(リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。)

安全上のご注意 (2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

- 図のように販売店で調整してもらってください。
- 操作して確認してください。
 - ①円滑なペダリングができる。
 - ②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
 - ③ハンドル操作が容易にできる。



つま先で踏む つま先が地面に着くように

必ず点検をしてください

- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

- ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
- 児童(13歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



乗る練習は必ず行ってください

- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
- よく練習してから一般道路でお乗りください。



■乗ったあとは

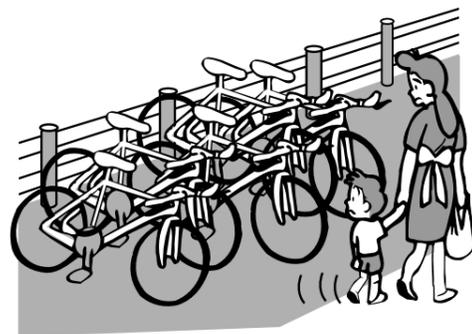
決められた場所に駐輪してください

- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

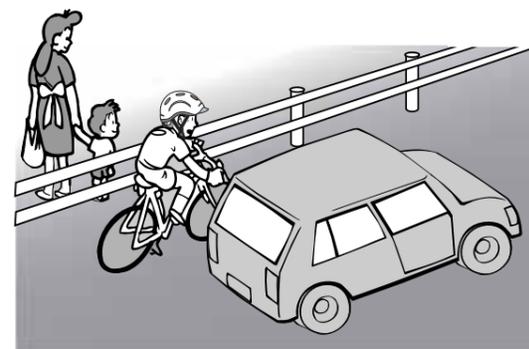


■自転車の交通安全ルールを守りましょう

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

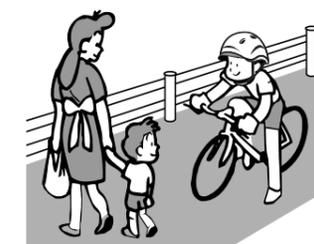
- 歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



次の様な場合は、歩道通行ができます

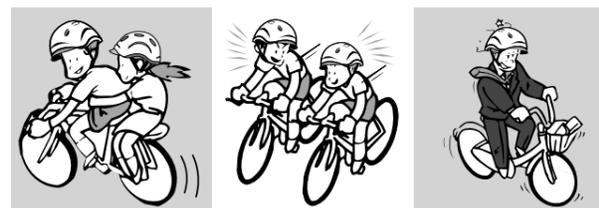
(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

- 自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
- 運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
- 車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

- 6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
- 「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
- 飲酒運転は禁止です。



交差点では一時停止と安全確認を

- 一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
- 信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



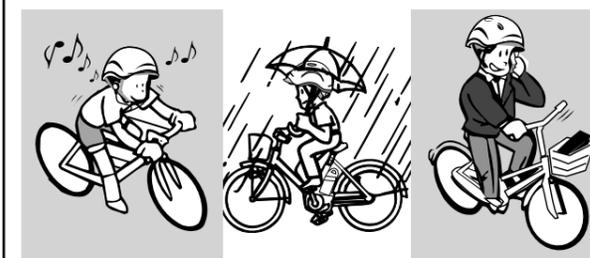
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

- 夜の無灯火運転は交通違反です。
- 暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はしない

- ヘッドフォンを使用しながらの運転。
- 傘さし運転。
- 携帯電話を操作しながらの運転。



安全上のご注意 (3) 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！



開くドアや人の飛び出しに注意する



学校や公園が近くにあるときに！



子供の飛び出しに注意する



交差点を通るときに！



左折車に巻き込まれないように注意する



転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない



バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

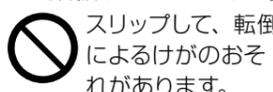
■合図以外は、ハンドルから手を離さない



バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

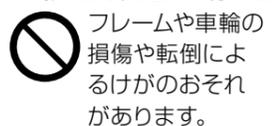
こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない
(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しいところを走らない
(歩道の段差や、溝など)



●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない



荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使い方

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)



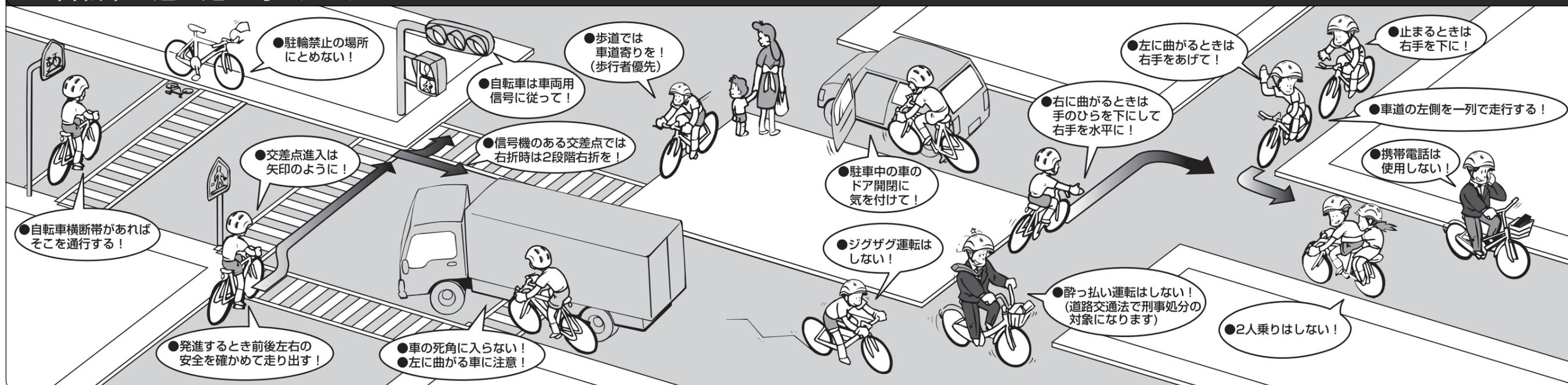
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

自転車で道を走る時のルール・マナー



乗るまえに

乗るまえに

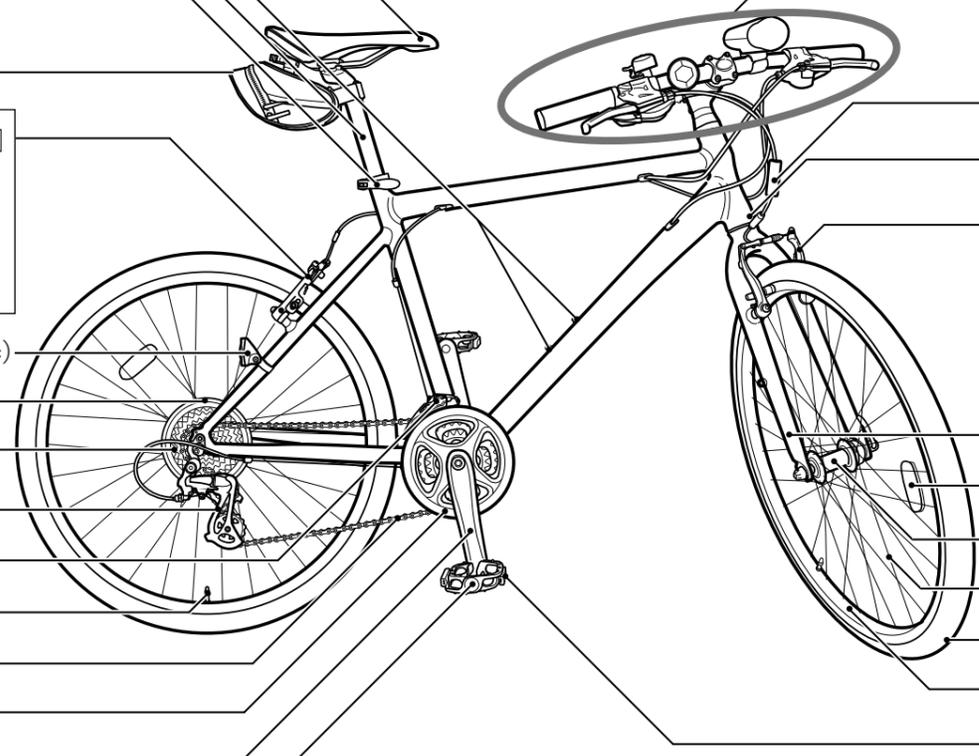
各部のなまえ

乗るまえに

■ B-PSCS43/48

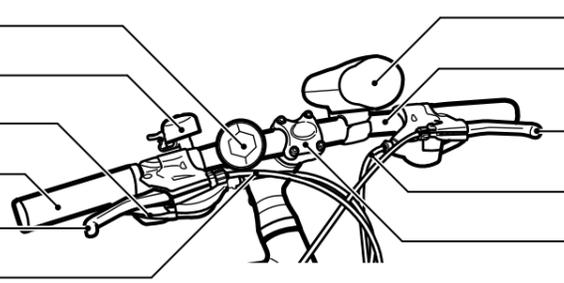
※印はオプション取付け部

- サドル
- ※ボトル台座
- シートポスト
- カムレバー
[クイックリリース式]
- バッグ
- 後ブレーキ [Vブレーキタイプ]
- リアリフレクタ(後部反射器)
- スポークプロテクタ
- フリーホイール
- リヤディレーラ
- フロントディレーラ
- タイヤバルブ [仏式]
- チェーン
- ギヤカバー
- ギヤクランク
- ペダル



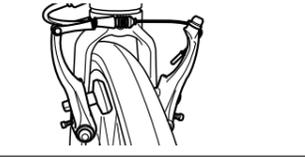
■ ハンドル部

- フロントリフレクタ
- ベル
- シフトレバー
- にぎり (グリップ)
- 前ブレーキレバー [右]
- ブレーキワイヤ
- バッテリーランプ
- ハンドルバー
- 後ブレーキレバー [左]
- 変速ワイヤ
- ハンドルステム



パワーモジュレータ

前ブレーキ [Vブレーキタイプ]



- 前ホーク
- スポークリフレクタ
- 前ハブ
- スポーク
- タイヤ
- リム
- ペダルリフレクタ

■ 品番表示

●品番の見方

B-PSCS48 F

品番 色

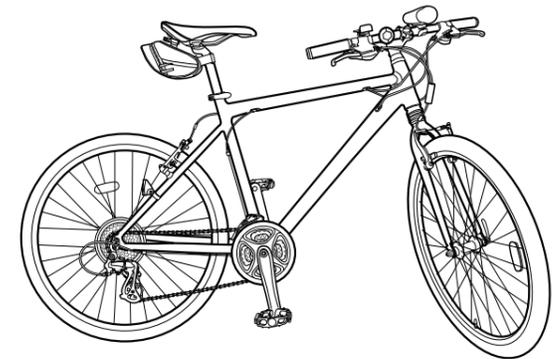
■ 車体番号 (刻印位置 右側)

9文字(数字と英字)で表示しています。

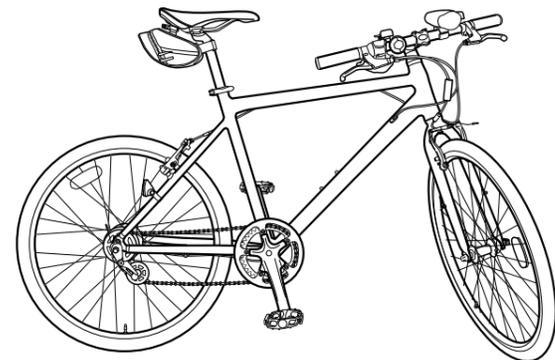
■ 付属品

- ワイヤ錠
- 取扱説明書/保証書
- フレーム保護シール
(フレーム保護シールは、フレームとワイヤ類が接触して傷が付くのを防ぐために使用します。)

■ B-PSCX43/48

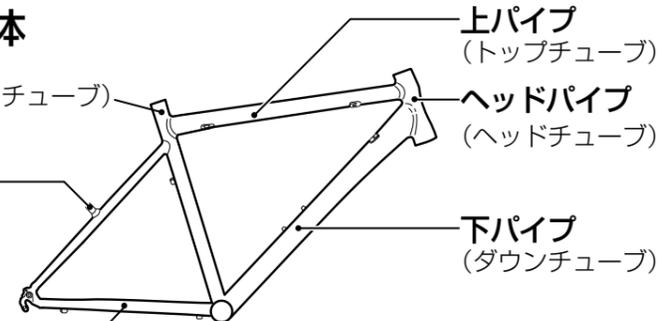


■ B-PSCE43/48



■ フレーム体

- 立パイプ (シートチューブ)
- シートステー
- チェーンステー
- 上パイプ (トップチューブ)
- ヘッドパイプ (ヘッドチューブ)
- 下パイプ (ダウンチューブ)



乗るまえに

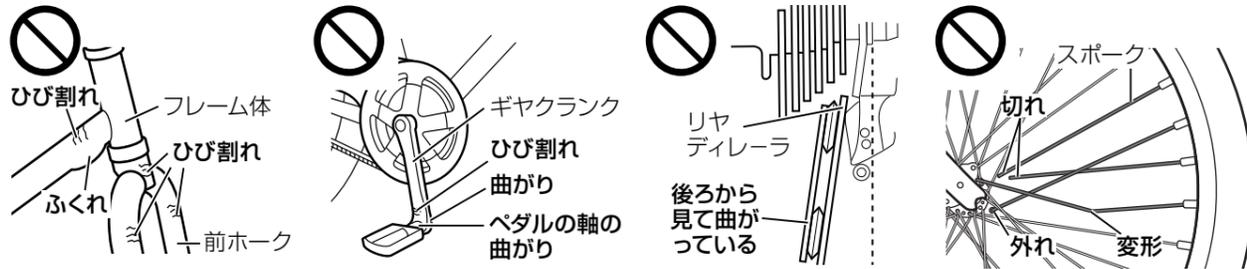
乗るまえの点検と調整 (1)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

警告

■各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等があるときは乗らない



折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるよう設計されています。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

■乗るまえの点検は、必ず実施する

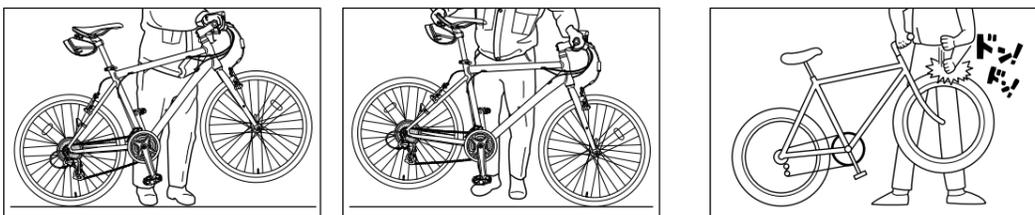
- 事故や転倒のおそれがあります。
- 前後ブレーキの効き、作動の点検をしてください。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。

■点検で異常があったときは、乗車しない

- 事故や転倒のおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談ください。

■各部のゆるみ

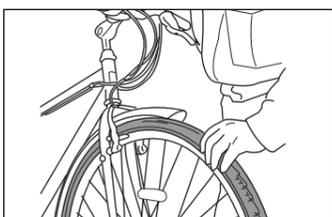
●車輪の締め付け部



車輪を 10 cm 程度の高さから落とし、車輪などの締付部ががたつきがないこと。(前後とも)

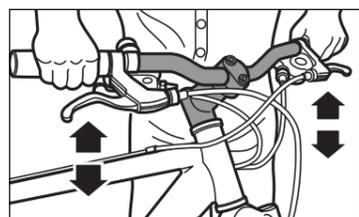
車輪を浮かせ強くたたいても、がたつきがないこと。

●車輪の振れ



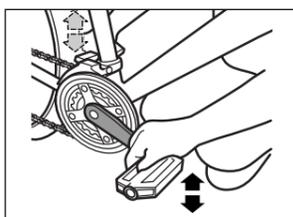
少し持ち上げ回転させ、上下左右に大きくふれないこと。

●ハンドルバー



バーを手で持って、上下に強く力を加えても、動かないこと。

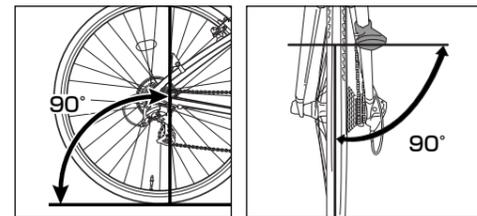
●ギヤクランク



左右交互に力を加えても、がたつかないこと。スムーズに回転すること。

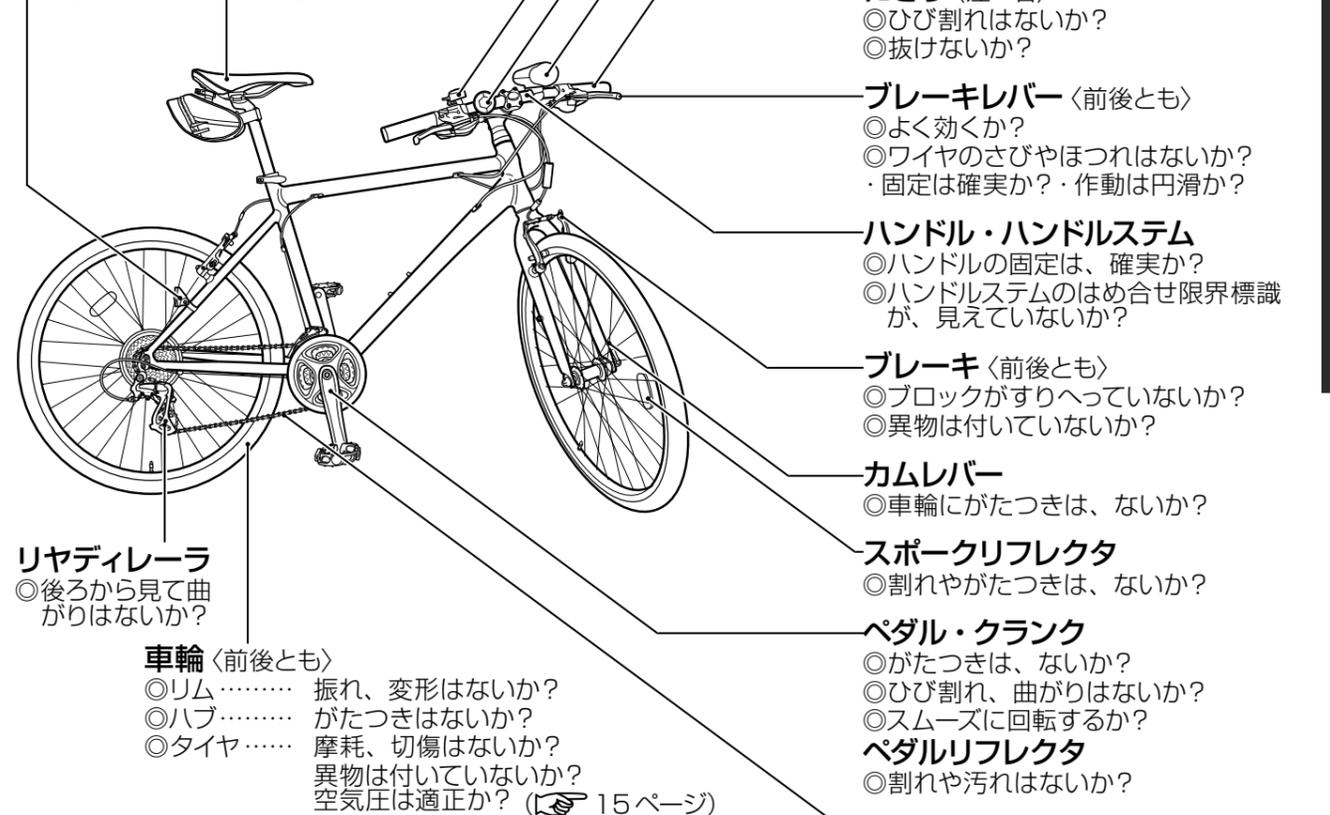
リヤリフレクタ (後部反射器)

- ◎割れや、汚れはないか?
- ◎後からの光を反射する角度になっているか?



サドル・シートポスト

- ◎サドルに座って、両足のつま先が、地面に着くか?
- ◎はめ合せ限界標識が、見えていないか?
- ◎シートポストの固定は、確実か?



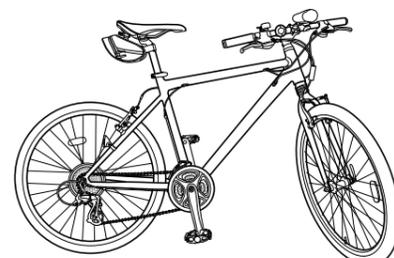
リヤディレーラ

- ◎後ろから見て曲がりはあるか?

車輪 (前後とも)

- ◎リム…… 振れ、変形はないか?
- ◎ハブ…… がたつきはないか?
- ◎タイヤ…… 摩耗、切傷はないか? 異物は付いていないか? 空気圧は適正か? (15 ページ)

■品番 B-PSCS43/48



■品番 B-PSCX43/48



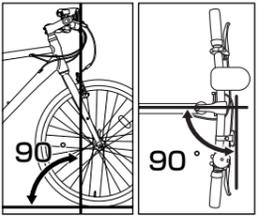
■品番 B-PSCE43/48

ベル

- ◎よく鳴るか?

フロントリフレクタ

- ◎割れや汚れはないか?
- ◎前からの光を反射する角度になっているか?



バッテリーランプ

- ◎点灯するか?
- ◎がたつきはないか?
- ◎取付角度は適切か?

にぎり (左・右)

- ◎ひび割れはないか?
- ◎抜けはないか?

ブレーキレバー (前後とも)

- ◎よく効くか?
- ◎ワイヤのさびやほつれはないか?
- ◎固定は確実か? 作動は円滑か?

ハンドル・ハンドルステム

- ◎ハンドルの固定は、確実か?
- ◎ハンドルステムのはめ合せ限界標識が、見えていないか?

ブレーキ (前後とも)

- ◎ブロックがすりへっていないか?
- ◎異物は付いていないか?

カムレバー

- ◎車輪にがたつきは、ないか?

スポークリフレクタ

- ◎割れやがたつきは、ないか?

ペダル・クランク

- ◎がたつきは、ないか?
- ◎ひび割れ、曲がりはないか?
- ◎スムーズに回転するか?

ペダルリフレクタ

- ◎割れや汚れはないか?

チェーン

- ◎空回りしないか?
- ◎小石等が挟まっていないか?
- ◎歯飛びや異常な音 (バリバリ音等) はないか?

乗るまえの点検と調整 (2)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

乗るまえに

乗るまえに

■サドル

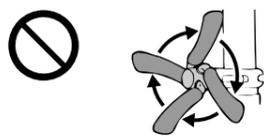
警告

■はめ合せ限界標識が見えるまで上げない



シートポストが折れたり、カム機構が動かなくなって転倒によるけがのおそれがあります。

■カムレバーを回転させて締めつけない

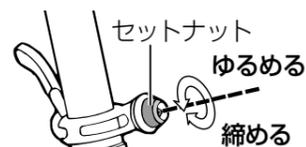
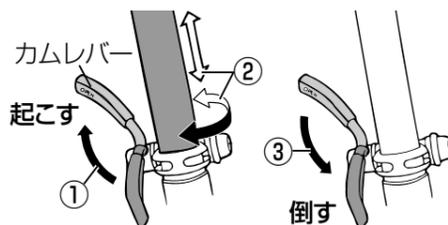


■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する



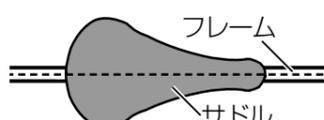
●高さとの調整

- ①カムレバーを後方向に起こす。
- ②サドルの高さ、向きを調整する。
- ③カムレバーを前方向に倒す。



※カムレバー固定の調整は、セットナットを回転させてください。

●正しい方向



フレームと平行に合わせる。

●正しい角度

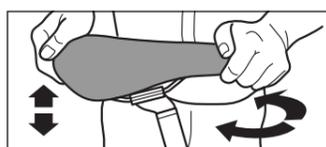


サドルの上面と地面を平行にする。

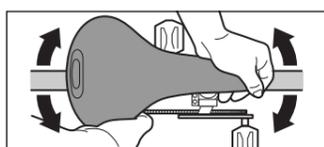
お願い

- さび付きを防止するために、シートポスト(立パイプに挿入されている部分)に、薄くグリスを塗ってください。
- 角度の調整は販売店にご相談ください。
- サドル上面が傾いたままご使用されますと、サドル固定ボルトが折れる場合がありますので、正しく調整してください。

●サドルの点検



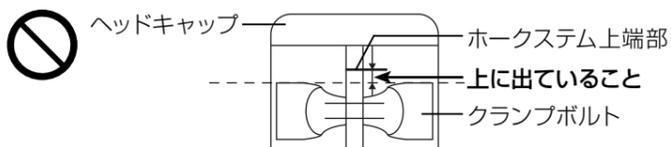
上下・左右交互に強い力を加え、がたつきやずれがないこと。



■ハンドル

警告

■前ホークステム上端部を上側のクランプボルト(図の点線位置)より下げない



ハンドルが抜けて転倒によるけがのおそれがあります。

■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する



事故や転倒によるけがのおそれがあります。

●ハンドルの点検



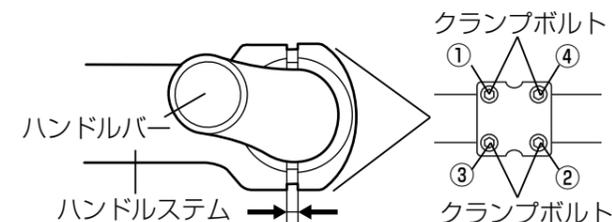
左右に強く力を加えても、動かないこと。



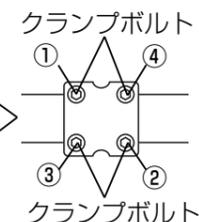
ハンドルステムの割溝から見て、前ホークステムの上部が上側のクランプボルトよりも上に出ていること。

●ハンドルバーの締付け (ご購入店に依頼されることをお勧めします。)

4 mm 六角棒レンチで、上下のすき間が均等になるように、上下のクランプボルトを①→②→③→④の順に対角線上を2～3回に分け交互に締付けてください。



上下のすき間が均一になるように



締付トルク
(5～6) N·m
{(50～60) kgf·cm}

●ハンドルステムの締付け (ご購入店に依頼されることをお勧めします。)

- ① 4 mm 六角棒レンチで、クランプボルトを締付けます。(2ボルトタイプ)
そのとき、ハンドルステムの割溝から見て、前ホークステムの上部が、上側のクランプボルトよりも上に出ていることを確認してください。
- ② ヘッド小物のガタ・回転が重いときは、クランプボルトをゆるめてからアンカーボルトで調整します。
- ③ ハンドルの高さ調節は付属のスペーサーをハンドルステムの上下に組替えることにより調節します。
- ④ ヘッドの回転が適正になったら、元通りクランプボルトを2～3回に分け交互に締付けます。



アンカーボルト 締付トルク
2.5 N·m {25 kgf·cm}
クランプボルト 締付トルク
(8～9) N·m {(80～90) kgf·cm}

乗るまえの点検と調整 (3)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

■ブレーキ

警告

調整後は、ロックナットを必ずもどおり確実に締めつける

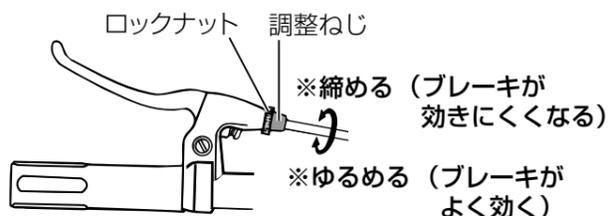
ブレーキの調整が狂い、転倒や衝突によるけがの原因になります。

ブレーキ操作の練習を充分行なう

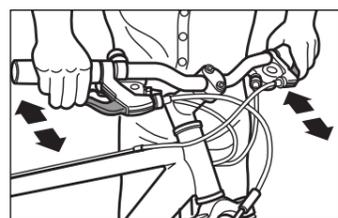
ブレーキの効きすぎによる転倒等によるけがのおそれがあります。
●時速 10 km 程度で、繰り返しブレーキ操作を練習し、ブレーキ特性を充分体得してから徐々に速度を上げてください。

●ブレーキレバーの調整

ブレーキをかけてよく効かない場合には、ロックナットをゆるめて、調整ねじで調整した後、ロックナットを必ずもどおり確実に締めつけてください。それでも効かない場合は、販売店に調整を依頼してください。

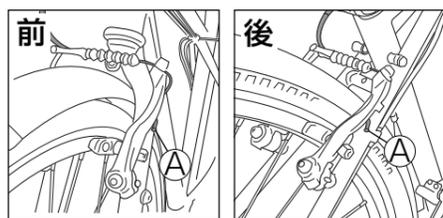


●ブレーキレバーの点検



通常力で引いて、レバーとにぎりの間隔が 2 cm ~ 3 cm あること。(前後とも)

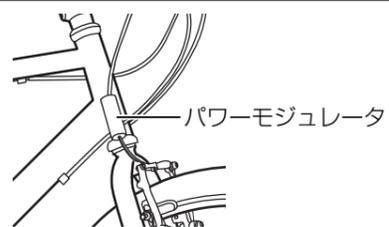
●ブレーキワイヤ (前後とも) の点検



ワイヤが切れかかっていないこと。
ワイヤの先端(A)に、キャップがついていること。

●パワーモジュレータ

フロントブレーキには、急激なブレーキングでもブレーキがロックしにくいパワーモジュレータを装着しています。



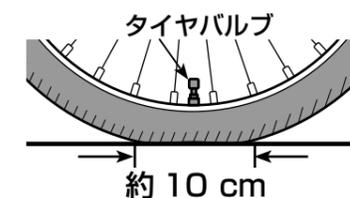
お知らせ

●ブレーキレバーを強く握ったとき、にぎりに接触することがあるため、ブレーキレバーとにぎりの間に指を入れると指をはさむことがあります。

■タイヤ (前後とも)

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが約 10 cm 程度が適正空気圧です。圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。



ご注意

- 空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
- 長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、仏式です。

●空気の入れ方

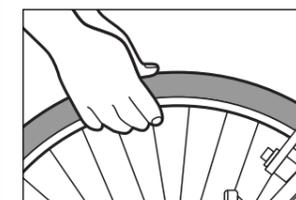
タンク付高圧ポンプをご使用ください。圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の空気圧表示を目安にしてください。

●仏式バルブの扱い方

プランジャーナット プランジャーナットを 3 ~ 4 回転ゆるめ、プランジャーナットを押して、空気を少し抜いてから空気を入れてください。

この部分は細いので折らないようにご注意ください。
アダプター (後タイヤバルブにセットしてあります) を使えば、一般の英式口金の高圧手押しポンプが使えます。

●タイヤの点検



切傷や亀裂がないこと。
摩耗していないこと。

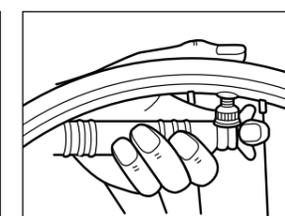
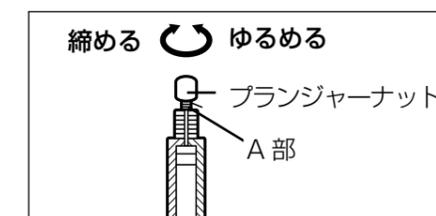
〈参考〉タイヤ側面の空気圧表示

kPa 表示	450	735
(PSI 表示)	65	105
(kgf/cm ² 表示)	4.5	7.4

※(PSI 表示)と(kgf/cm² 表示)は、参考として示したものです。

●インフレーターを使用される場合

プランジャーナットを反時計方向に回してゆるめ、プランジャーナットを押して、空気を少し抜いてから、インフレーターをさしこみます。(後車輪の場合は、タイヤバルブにセットしているアダプターを外してから) この時、A 部は細いので折らないようご注意ください。



お願い

●空気を入れ終わったらプランジャーナットを必ず閉めてください。

乗るまえの点検と調整 (4)

正しい取扱い方法 (1)

乗るまえに

乗るまえに

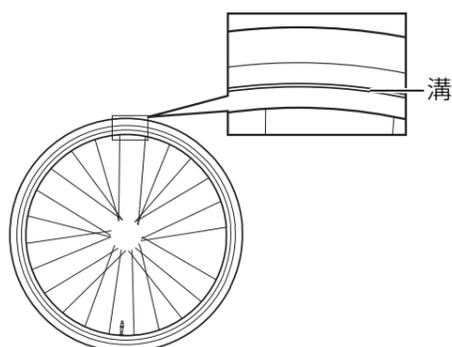
■ リム (前後とも)

● リム交換の目安

リムについている溝がリムの摩耗表示目安です。この溝が見えなくなったら新しいリムと交換してください。

お願い

- リムの交換は販売店に依頼してください。



■ バッテリーランプの点検

警告

■ ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

スポークに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
● ライトがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

● 照らす位置



お願い

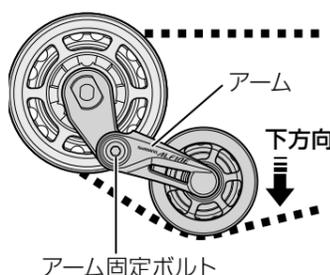
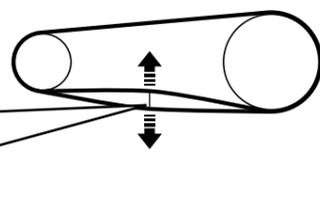
- 角度の調整は販売店にご相談ください。

■ チェーンテンションの調整 (PSCE) (販売店にご依頼ください。)

①アーム固定ボルトをゆるめて、アームを下方方向に回転させて、上下にチェーンを引っ張ったときに、チェーンのたるみが 15 mm ~ 25 mm になるように調整します。

②アーム固定ボルトを締め付け、確実に固定します。

チェーンのたるみが 1N (100 gf) 程度の力で 15 mm ~ 25 mm になるように調整します。



締付トルク:
(12 ~ 14) N·m
{(120 ~ 140) kgf·cm}

③クランクを回転させて、スムーズに異常な音がなく車輪が回ることを確認します。

■ バッテリーランプの取扱い

警告

■ ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

前方を照らす角度がくるい、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
● 乗る前に点検してください。

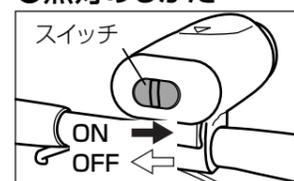
■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
● ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

■ 走りながら、スイッチの操作をしない

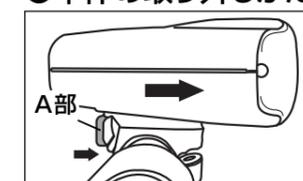
片手運転になり、転倒によるけがのおそれがあります。
● 停止して、手で操作してください。

● 点灯のしかた



スイッチを右側にスライドすると点灯し、左側にすると消灯します。

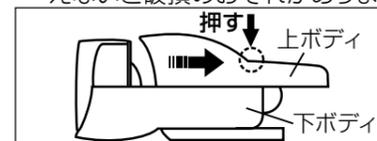
● 本体の取り外しかた



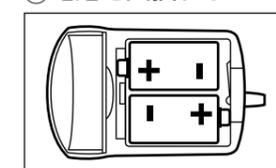
A部を押さえながら本体を前にスライドさせて外します。取り付け方はカチッと音がするまで後方にスライドさせます。

● 電池の交換方法 (電池は単 2 形アルカリ乾電池をご使用ください。)

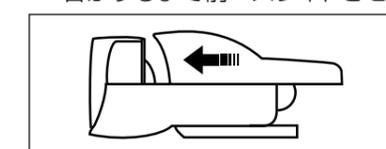
①丸印の部分を押しながら、上ボディを後ろへスライドさせます。(押さえないと破損のおそれがあります。)



②電池を交換する



③下ボディに上ボディをのせ、パチッと音がするまで前へスライドさせます。



お願い

- 取り替えた電池は、地域で定められた条例に従って、処理してください。

お知らせ

- 使用時間の目安は、連続 8 時間 (アルカリ電池使用時) です。
- 出荷時はモニター電池を入れておりますので、お早めに電池の交換をお勧めします。

● 電球の交換

※電球仕様 2.5V-0.5A クリプトン球 (口金 P13.5S)

お願い

- 電球の交換は販売店にご相談ください。

■ 乾電池の取扱い

危険

■ 電池の電解液が目、皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける

失明やけがのおそれがあります。

警告

■ 乾電池の使用は次のような使い方をしない

- 充電しない
- 電池を火の中に投入しない
- 新旧・異種の電池を混用しない
- 電池をショートさせない
- 電池の⊕⊖を逆にして使用しない
- 使用済電池を使用しない

使い方を誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂による、けがのおそれがあります。

正しい取扱い方法 (2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

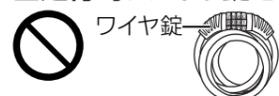
乗車について

警告

■乗車したまま段差の上り下りはしない (車道から歩道への段差等)

- スタンドが段差に引っかかり、転倒によるけがのおそれがあります。
- 自転車から降りて、押してください。

■走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない



- スポークに巻き込んだりハンドルがとられて、転倒によるけがのおそれがあります。
- ワイヤ錠のキー番号プレートは保管しておくことをおすすめします。

ブレーキのかけかた

- ①後ブレーキを先にかけてから
- ②前ブレーキをかける。



お願い

- 急な坂道のときは、降りて押してください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行してください。

警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

- ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

- 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

変速機の表示とギヤの位置 (PSCS, PSCX)

警告

■漕ぐ力を抜いて、ペダルを空転気味に軽く回転させながら変速操作をする

- 間違っただ変速操作をすると事故によるけがの原因になります。
- 初めて変速機を使われる人は、よく練習してください。

■次のような変速はしない

- ペダルを止めたままの変速
- ペダルを逆転させながらの変速
- 一気に2段以上の変速
- ペダルを強く踏みこみながらの変速
- 停止しているときの変速
- シフトレバーを無理に操作する変速
- 前をトップ、同時に後をローにする変速
- 前後同時の変速
- 前がロー、同時に後をトップにする変速

事故によるけがの原因になります。

お願い

- スムーズに変速ができるか確認し、調子が悪いときは販売店にご相談ください。

●左シフトレバー (フロントディレーラ / 3段) ●右シフトレバー (リヤディレーラ / 8段)

ペダリングが軽くなる
3 → 2 → 1

左手の人さし指を使って引く操作が最適です。

左手の親指を使って上から押す操作が最適です。

ペダリングが重くなる
1 → 2 → 3

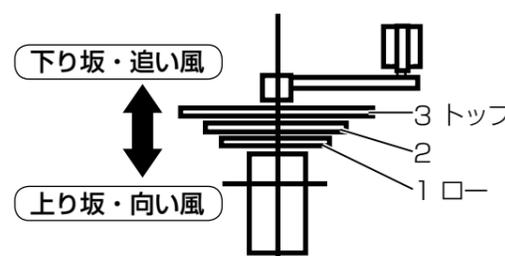
ペダリングが重くなる
1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8

右手の人さし指を使って引く操作が最適です。

右手の親指を使って上から押す操作が最適です。

ペダリングが軽くなる
8 → 7 → 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1

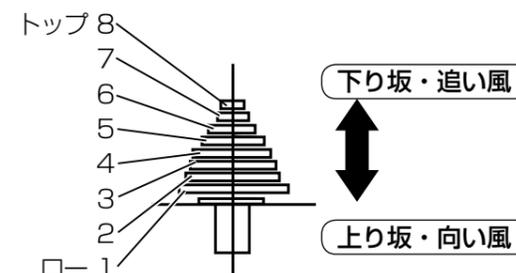
●前ギヤ (3段)



下り坂・追い風

上り坂・向い風

●後ギヤ (8段)



下り坂・追い風

上り坂・向い風

正しい取扱い方法 (3)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速のしかた

警告

■スピードをだしすぎない

 標準常用速度 15 km/h ~ 25 km/h
衝突や転倒によるけがの原因になります。

■一度に2段以上変速しない

 一気に変速すると、ショックが大きく、転倒によるけがのおそれがあります。
●1段ずつ変速してください。

お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- シフトレバーを無理に押す変速はしないでください。
(変速機を傷める原因になります。)
- 変速時は、ペダルの踏力を少なくして変速してください。(スムーズに変速できます。)

●変速位置のめやす

※坂や風の状態、体調等によって変速し、最適の位置を選んでください。

発進するとき



左シフトレバーを **2**、
右シフトレバーが **1** または **2** になっているのを確認する。

- 前後左右の安全を確認してから発進する。

平地を走るとき



左シフトレバーを **2**、
右シフトレバーを **3** または **4** に合わせる。

上り坂のとき



坂の手前で…
左シフトレバーを **1**、
右シフトレバーを **3** または **4** に合わせる。

- 急な坂道のとき ⇒ 降りて押す。

下り坂のとき



坂の手前で…
左シフトレバーを **3**、
右シフトレバーを **3** または **4** に合わせる。

- 急な坂道のとき ⇒ 降りて押す。

停止するとき



停止する手前で…
左シフトレバーを **2**、
右シフトレバーを **1** または **2** に合わせる。

- 後ろブレーキを先にかける。

正しい取扱い方法 (4)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速機の表示とギヤの位置〈PSCE〉

警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度 15 km/h ~ 25 km/h
衝突や転倒によるけがの原因になります。

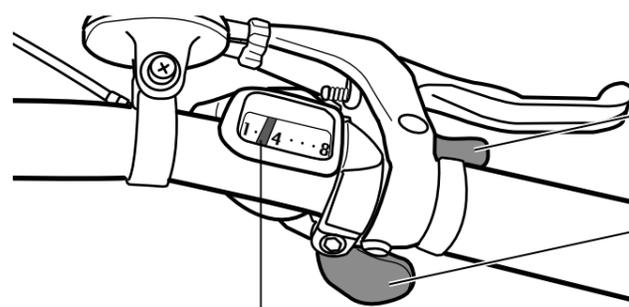
■一度に2段以上変速しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒によるけがのおそれがあります。
●1段ずつ変速してください。

お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- シフトレバーを無理に操作する変速はしないでください。(変速機を傷める原因になります。)
- 変速時は、ペダルの踏力を少なくして変速してください。(スムーズに変速できます。)

●右シフトレバー (後変速機 / 8段)



インジケーター

ペダリングが軽くなる
8 → 7 → 6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1

右手の人さし指を使って引く操作が最適です。

右手の親指を使って上から押す操作が最適です。

ペダリングが重くなる
1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8

●変速位置のめやす

※坂や風の状態、体調等によって変速し、最適の位置を選んでください。

発進するとき



シフトレバーを **2** または **3** に合わせる。

- 前後左右の安全を確認してから発進する。

平地を走るとき



シフトレバーを **4** または **5** に合わせる。

上り坂のとき



坂の手前で…

シフトレバーを **2** または **3** に合わせる。

- 急な坂道のとき ⇒ 降りて押す。

下り坂のとき



坂の手前で…

シフトレバーを **6** または **7** に合わせる。

- 急な坂道のとき ⇒ 降りて押す。

停止するとき



停止する手前で…

シフトレバーを **2** または **3** に合わせる。

- 後ブレーキを先にかける。

乗るまえに

乗るまえに

正しい取扱い方法 (5)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■前車輪の着脱方法(クイックリリースハブ)〈PSCS, PSCX, PSCE 前ハブ〉

※ PSCE の後ハブはナット式です。

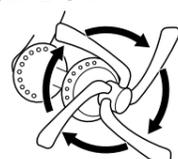
警告

■車輪固定確認(取付後は外れないか確認する)



前車輪が外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

■フレームに車輪を固定するとき、カムレバーを回転させない



クイックリリースのカム機構が動かなくなり、前車輪が外れて転倒によるけがのおそれがあります。

■カムレバーは進行方向と逆方向に倒す

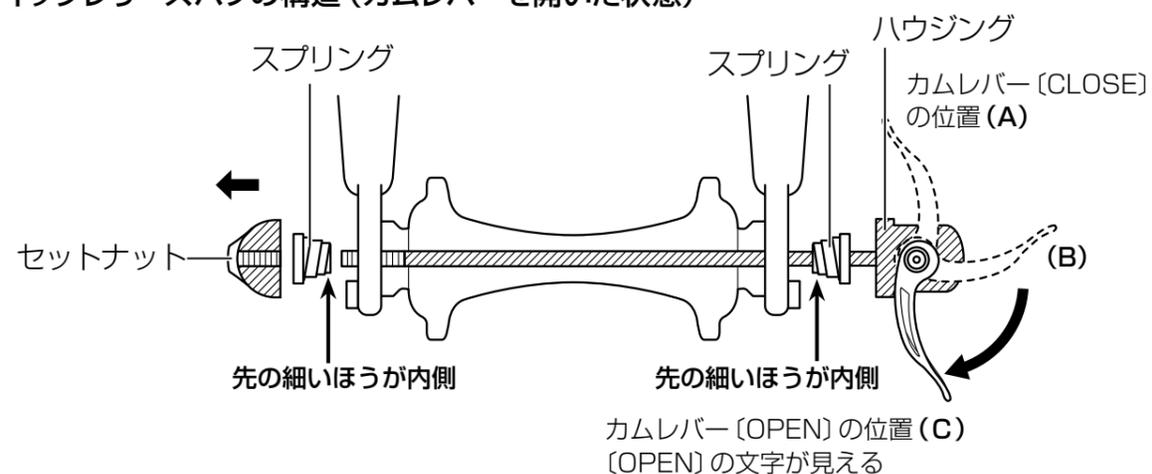


走行中、障害物に接触した時ロックが解除されて、転倒によるけがのおそれがあります。

クイックリリースハブを使っておりますので、前車輪の着脱が簡単にできます。

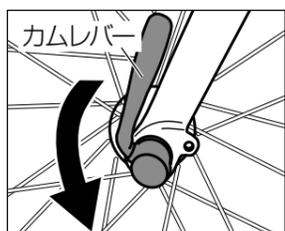
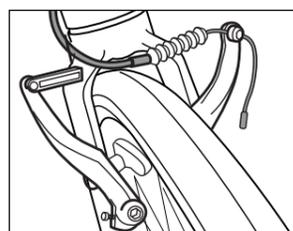
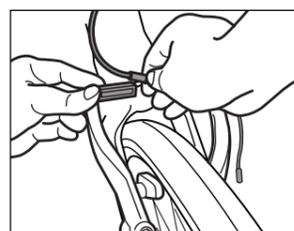
お願い

- 初めてクイックリリースハブを使われる方は、販売店で実際に操作されて、よく練習してから乗車してください。
- クイックリリースハブの構造(カムレバーを開いた状態)

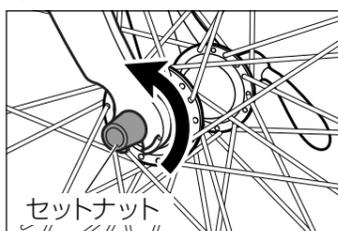


●外し方

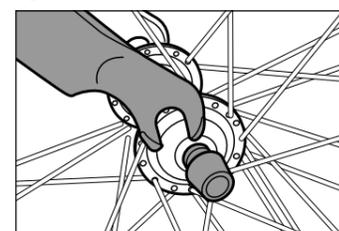
- ①前ブレーキワイヤを外す。
- ②カムレバーの OPEN の刻印が見える位置 (C) へ倒す。



③セットナットをゆるめる。

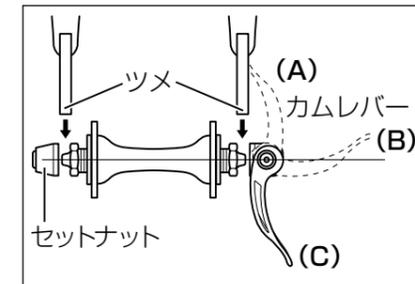
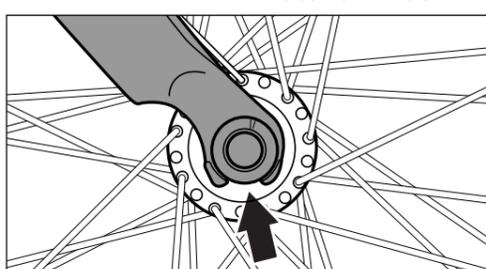


④前車輪を外す。

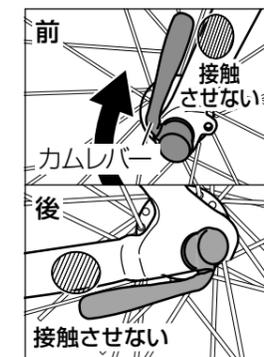
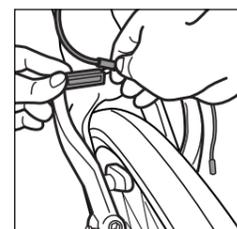
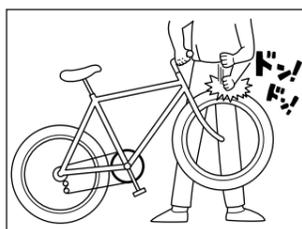


●取付け方

- ①カムレバーを OPEN の位置 (C) の状態にして、前ホークのツメの奥までしっかりとほめこむ。※カムレバーは自転車の左側です。
- ②カムレバーを半分ぐらい閉じた位置 (B) 位で、固くなるようセットナットを締めて調整する。



- ③カムレバーを OPEN の位置 (C) にした状態で、前車輪を浮かせ強くたたき外れないか確認する。
- ④前ブレーキワイヤを取付ける。
- ⑤カムレバーの CLOSE の刻印が見える位置 (A) へ手のひらが痛くなるくらい力いっぱい強く倒す。
- ⑥カムレバーを締めつける。



お知らせ

- 後車輪を取り外しするときも前車輪と同様の手順で行ってください。チェーンをトップギヤに入ると外しやすくなります。(PSCE 除く) 押し力 (5 ~ 7.5) N·m {(50 ~ 75) kgf·cm}

お願い

- カムレバーが●部等に接触する場合はその場所を避け、確実にレバーが倒れる位置にしてください。

お手入れ／注油について

お手入れ

■日常のお手入れは、

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- がんだ汚れには、台所用洗剤(中性)を薄めてご使用ください。



■汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。注油禁止場所には注油しないでください。(27 ページ)

■塗装部(フレーム体など)

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■めっき部

乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■樹脂部

ついた油は、すぐ、乾いた布でふきとってください。

■湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■Vブレーキタイプ使用車

雨天走行後は、リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。(黒く変色するのを防ぎます。) また、ブレーキブロックが早く摩耗するため、必ず点検してください。

お知らせ

- 軽合金(アルミ)リムに、ブレーキブロックのゴムが付着する場合がありますが、性能には影響ありません。

お願い

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。)
- サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、すべります。)

注油について

**警告**

■リムやブレーキブロック(ゴム部)には、油をつけない

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。



注油禁止

注油場所と注油禁止場所



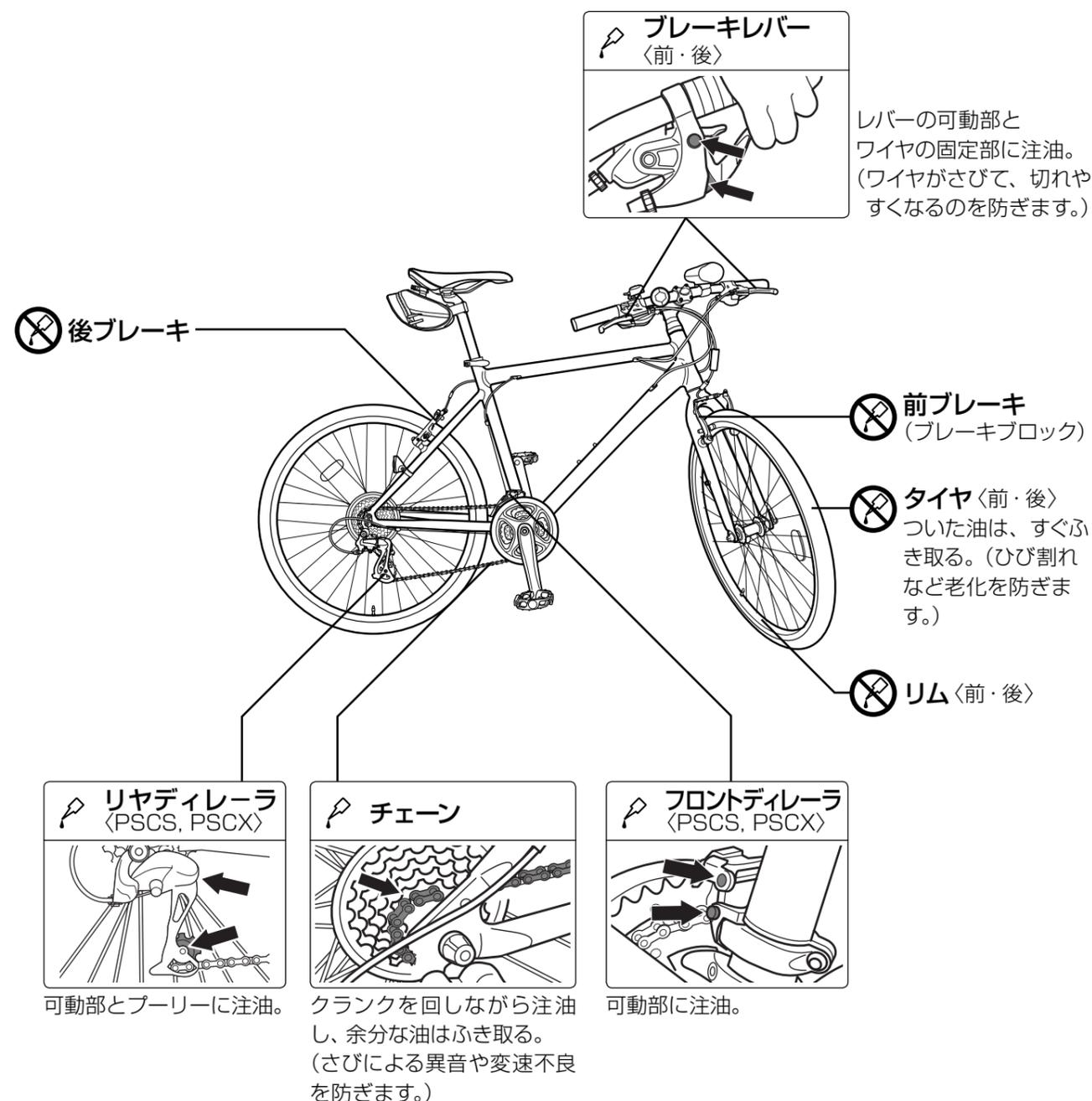
このマークは、注油場所を示します。



このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

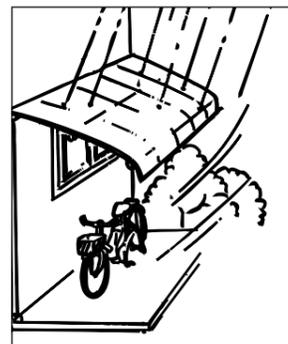
- 油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
- 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



保管／廃棄

■保管場所は、

雨がかりにくい場所に保管してください。
雨がかかる場所では、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。



■廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

定期点検

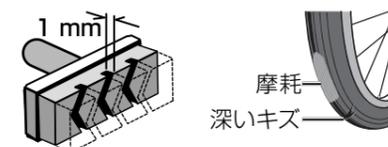


■定期点検は、必ず実施する

⚠ 異常や故障の発見がおくれ事故によるけがの原因になります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

- ⚠ ●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。
- タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
- ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mmになる前に交換する。
- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回(2ヵ月目)点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回(2ヵ月目)の点検と整備

お買い上げ2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士(自転車組立整備士)、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●2回目以降(6ヵ月毎)の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検

定期点検をし、安全走行をしましょう!



こんな症状は
ありませんか

- 異常な音がする
- がたつきやゆるみ
- 車輪の振れ
- ブレーキの効が悪い

事故防止のため、必ず販売店に
点検・整備をご依頼ください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電 話 () -
品 番	車体番号
防犯登録番号	

盗難補償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より1年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格(税込)の60パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から1年間以内の自転車(別売部品等を含む装着部品の盗難は除く)かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限りです。

(2) 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの(警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等)に、盗難車の希望小売価格(税込)の60パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡します。

(3) 盗難補償できない場合

- イ. 施錠せず盗難にあった場合
- ロ. (2)の書類がそろわない場合
- ハ. 補償期間が過ぎている場合
- ニ. 盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
- ホ. 防犯登録がされてない場合
- ヘ. 盗難車が見つかり、返ってきた場合
- ト. 景品などの贈呈品の場合

お知らせ

- 生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- 新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

この自転車は(社)自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

スポーツ用自転車安全基準

「スポーツ用自転車安全基準」は、(社)自転車協会がEN規格(ヨーロッパ規格)をベースに日本独自の道路事情や体格差等を勘案して項目の一部を変更、また、ヨーロッパの環境負荷物質に関する規制(RoHS指令)を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

SBAA マーク



SBAA マークが貼付されたスポーツ用自転車は、安全で快適な自転車を目標に、社団法人自転車協会が定めたスポーツ用自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

SBAA マークは、自転車のフレームに貼付されています。

※ SBAA= 自転車協会認証—SPORTS BICYCLE APPROVED BY BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN)

アフターサービスについて (修理を依頼される時)

●保証期間中は、

お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

●保証期間が過ぎた後は、

お買い上げの販売店にご相談ください。

取付けのポイント

- 安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
(当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。)
- オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に、販売店にご確認ください。
(掲載している品番は 2009 年 7 月 現在のものです。)
- 価格等詳細については、販売店にご相談ください。

リヤキャリア NCR1089



警告

■積載条件から外れる荷物を積まない

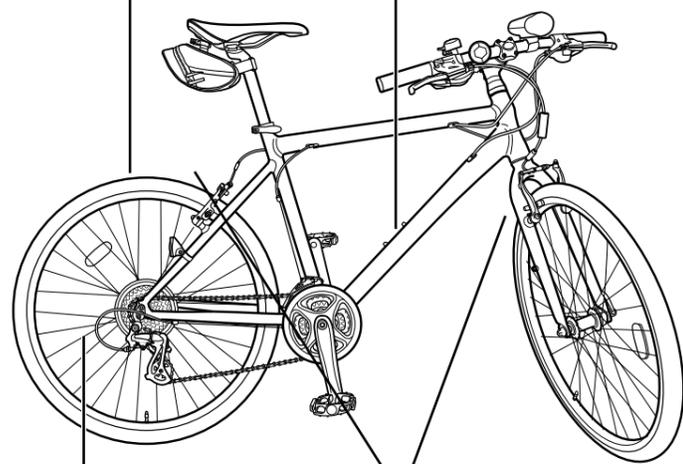
- 高さ：15 cm まで
- 長さ：キャリア長さまで
- 幅：キャリア幅まで
- 重さ：7 kg まで

バランスを崩したり、ブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

お願い

- 積載条件以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなったり、場合によってはリヤキャリア、フレームなどが破損するおそれがあります。

ボトルケージ
NAB079



スタンド
NCS898S

どろよけ
NDD5082

品番	B-PSCS43	B-PSCS48	
寸法	フレームサイズ	430 mm	480 mm
	全長	1660 mm	1695 mm
	全幅	575 mm	
	ハンドル高さ	915 mm ~ 940 mm	935 mm ~ 960 mm
	サドル高さ	810 mm ~ 940 mm	860 mm ~ 990 mm
フレーム	アルミ/ダイヤモンド型		
ハンドルバー	フラットバー		
変速機	レバー式 (前3段/後8段)		
前ホーク	アルミ/ノーマルホーク		
ブレーキ	Vブレーキタイプ		
錠	ダイヤル式ワイヤ錠		
ギヤカバー	付		
リム (前後)	アルミ 32/32H		
タイヤバルブ	仏式		
タイヤ (前後)	26 × 1.25		
装着可能タイヤサイズ (前後)	26 × 1.75 まで		
オプション	ボトルケージ/どろよけ/ スタンド/リヤキャリア		
乗車適応身長	150 cm ~ 172 cm	161 cm ~ 183 cm	
股下サイズ	69 cm ~ 79 cm	74 cm ~ 84 cm	
質量	11.7 kg	11.8 kg	

品番	B-PSCX43	B-PSCX48	
寸法	フレームサイズ	430 mm	480 mm
	全長	1670 mm	1705 mm
	全幅	575 mm	
	ハンドル高さ	940 mm ~ 965 mm	960 mm ~ 985 mm
	サドル高さ	805 mm ~ 935 mm	855 mm ~ 985 mm
フレーム	アルミ/ダイヤモンド型		
ハンドルバー	フラットバー		
変速機	レバー式 (前3段/後8段)		
前ホーク	サスペンションホーク		
ブレーキ	Vブレーキタイプ		
錠	ダイヤル式ワイヤ錠		
ギヤカバー	付		
リム (前後)	アルミ 32/32H		
タイヤバルブ	仏式		
タイヤ (前後)	26 × 1.75		
装着可能タイヤサイズ (前後)	26 × 2.0 まで		
オプション	ボトルケージ/どろよけ/ スタンド/リヤキャリア		
乗車適応身長	150 cm ~ 172 cm	161 cm ~ 183 cm	
股下サイズ	69 cm ~ 79 cm	74 cm ~ 84 cm	
質量	12.8 kg	12.9 kg	

